

山水美を守り

上野古典立華―上野華道奨励会― 町指定文化財に指定

10月22日、南越前町教育委員会が開かれ、上野古典立華が南越前町指定文化財として承認され、11月1日、指定書(南越前町指定文化財第八十五号)が上野華道奨励会の代継一郎会長に手渡されました。

代継会長は「上野古典立華は、上野の住民が江戸時代後期に京都へ赴き技法を習い、華道奨励会を結成、生花の原点を受け継いできました。花形や格式を忠実に守っているのは珍しいようで、展覧会には全国から多くの人が訪れます。今回の指定を機に、上野と言わず興味のある人にぜひ奨励会に加入していただき、古典立華の技法が伝授できるよう会を盛り立てていきたい。」と抱負を話されました。



鈴木教育長は「今後も、素晴らしい作品を期待するとともに、山水美の魅力と素晴らしき技法を後世にぜひ伝えていただきたい。」と激励しました。

暴力団不当介入防止強化へ連携 町と越前警察署が合意書に調印

11月13日、公共工事と指定管理者制に対する暴力団の不当介入を防ごうと、南越前町と越前警察署が「公共工事からの暴力団排除に関する合意書」と「指定管理者からの暴力団排除に関する合意書」に調印し、連絡・協力態勢を強化することで合意しました。

公共工事では、業者が暴力団と関係するなど指名停止要件に当たる情報を同署が把握した場合、町に通報することや、町が暴力団の関与が疑われると判断した時点で、同署に照会すること、また、指定管理者は、事業者と暴力団との関与が発覚した場合に、選考から外し、既に管理者となっているケースは契約を打ち切ることなどが盛り込まれています。

南越前町役場で行われた調印式で、増澤町長と塚本越前警察署長が合意書を交わし、増澤町長は、「暴力団の行政への

不当介入が大きな社会問題となっている現在、特に公共工事や指定管理者制は、その額が多額なことから、その対策が急務となっています。合意書締結を機に、越前警察署と連携を密にし、暴力団の不当介入を未然に防ぎ、健全な社会の構築に貢献したい」と述べました。



平成19年度 東海北陸社会教育委員 協議会連合会表彰



井上 英之さん
(金粕・59歳)

10月18日、愛知県江南市で東海北陸社会教育委員研究大会にて、長年にわたり社会教育の推進に大きく寄与したとして、東海北陸社会教育委員協議会連合会表彰を受けました。

井上さんは、平成7年に旧南条町社会教育委員に任命されて以来、社会教育に高い関心を持ち、町生涯学習奨励員、図書館協議会委員、青少年育成推進員などを歴任し、積極的に活躍、現在は、あすの福井県を創る運動推進員や南条っ子を育てる会の会長として活躍しています。